

やぶやぶにゆうす

春号
保険のコンサルタント
0120-082-313

富士火災海上保険(株)
三井住友海上火災保険(株)
東京海上日動火災保険(株)
あいおいニッセイ同和損害保険(株)
メットライフ生命保険(株)
オリックス生命保険(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株)
AIG損害保険(株)など

編集・発行:(株)大蔵保険コンサルタント(有)やぶライブ ランニング 〒167-0032 東京都杉並区天沼3丁目2-6 トヨタビル2F TEL.03-3392-6765 FAX.03-3392-6793

車の自動運転は どこまで進むのか

車の自動運転は「いままで進む」のでしょか?

自動車メーカーやIT企業による自動運転車の開発が熱を帯びてきました。一方では原因はまだ確定していませんが、未熟なスキーマスでの運転による死傷事故という悲しいニュースや大阪梅田での突然の暴走事故というニュースが飛び込んできました。これから必要となる自動運転について皆さんと一緒に考えてみましょう。

従来の「認知」「判断」「操作」という運転技能はドライバーが行ってきたことでしたがこれを車に任せようとしているのです。言うならば自動車の競争がデザインや安全性・機能とは別の賢さを競う時代に入りました。ロボットではありませんがセンサーとコンピューターで自動化させるのです。なんだか昔読んだ「鉄腕アトム」のようです。自動運転車実現の国際基準作りが進められています。

4段階の目標を設定

日本政府は4段階の目標を設定しています。

レベル1の現在は加速・ハンドル操作・ブレーキのいずれかの自動化です。既に実用化されているもあります。

レベル2は2017年を目標に

上記の3操作のうち複数を実行できることです。例えば車線変更等

レベル3は2020年代前半を目標に3操作全てを自動化し、緊急時だけドライバーが対応する。

レベル4は2020年代後半を目標にドライバーは何もしなくていい完全自動運転化する予定です。

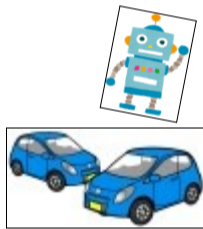
開発競争が激化の予想

欧米車の開発で高速道路での自動運転が2017年から可能という情報もあります。さらにグーグルやアップルが本気で乗り込んでいます。もちろん日本の電気メーカーも黙っていないでしょうね。日本政府の成長戦略にも自動運転システムの推進を盛り込み商用化を後押しすることが決まっています。開発競争が激化して予想より早いかもしれませんね。

でも運転する楽しみはどこかに行っちゃうのではないかと。コンピューターの入力ミスやシステムの不具合での事故が発生する危険もあります。さらに自分の車は自動運転で問題なくとも古い相手車や自車の急な飛び出し等には対応できるのしょうか? たまに弊社のパソコンも不具合を起したりご機嫌が悪い時があります。

NEW WORLD
NEWSOLUTION
NEW RISK

現在の保険システムはドライバーの操作技術を基に契約車両の責任で割増しや割引の制度となつていきます。誰に責任があるのでしょうか? これからはメーカーの製造物責任に変わっていくようにも思えます。自動車免許証の必要性も問われてきますね。時代が大きく動いてきたようです。



安全講習や事故処理のスペシャリストの大蔵保険も能力が発揮できない時代になり、自動車保険をあてにしている仕事ができなくなる時代がやってくる不安も感じます。しかし、どんなに時代が変わってもお客様に寄り添って一緒に考え、対応していただける保険代理店を今年も目指してまいります。一年間よろしくお願ひ申し上げます。

大塚教授の相談シリーズ 契約者の「意向の把握」



大塚教授

今年の5月から保険業法という法律に、保険の募集をするときには契約者の「意向」をしっかりと汲まなければならないということが、はっきりと書かれることになりました。これは、保険代理店にとって二つのことを意味します。まず、①個々の契約者に「適合」した保険商品を「提供」しなければなりません。客観的に見て、「この人にこんなもの売っていいの?」と思われるような保険契約は、そもそも提案できないわけです。つぎに、②提案した保険契約についてそれぞれの契約者が十分に理解しているかを確かめる必要があります。たとえ客観的に見て「なるほど」と思わせるような商品でも、その契約者が理解できていないと「意向に沿った」とはみなされないわけですね。この二段階のことをやらないと、代理店は損害賠償を負ってしまうおそれもありますから、とてもたいへんです。たとえば、認知症の人に保険商品を購入するときは、どうして②は無理ですよ…。その場合は①を一層確実に行う必要があります。ところで認知症と保険については様々な問題がありますのでそれは次回に書かせていただきます。教授の原稿に差し出がましいのですが編集長も生保会社の指導の元、70歳以上の方がご契約時には家族の方の同席をお願いするか、契約成立後お電話で確認するなど色々対策はたっています。代理店はうかうかしてられません!

大塚教授：現在は早稲田大学大学院法務研究科の教授です。担当ゼミは会社法ゼミ・保険法ゼミ担当科目は主に会社法・保険法・信託法大学院やロースクールでも活躍されています。所属は早稲田大学大学院法務研究科 弊社のアドバイザーをお願いしています。

東日本大震災から5年が… 30甲子園へ!

震災から5年の月日が経ちましたが一向に復興は進んでいません。あのプレハブの仮設に閉じ込められ続け…運よく復興住宅に変わっても家賃問題が発生してきます。一重ローンを抱えている方もいます。収入の道が閉ざされている方も多くいます。陸前高田はあいつも変わらぬ12mまでの土盛をしており、これからの商店や住居を建設するにはまだ3年はかかると思います。そんな中、故郷釜石から嬉しいニュースが飛び込んでいます。昨年の世界遺産に橋野溶鉱炉が登録されたのに続き、社長の母校釜石高校が春の選抜に21世紀枠で20年ぶりに出場します。

グラウンドの半分が仮設住宅で使用されている中で、岩手県での準優勝が評価されたようです。20年前の出場では参加校中、チーム打率は下から2番目でも進学率は上から2番目という中で6点取って1点差で敗れました。震災から5年というところでテレビの特番が組まれていますがそこでもテレビのインタビューに釜石市民が答えていました。「あの子達震災の時小学生だったんです!練習なんて出来ない状態が続いたあの子達が甲子園に行くんです!」震災当時「釜石の奇跡」と呼ばれた子供たちです。とにかく地震・津波の時高いところへ逃げてください。このいざという時の訓練をあの災害に生かしたのです。

被災地に勇気を与える戦いをしたいと期待しています。被災地の皆さんも応援しています。もちろん日本中が応援しています。東北魂を甲子園で見せてください。東北魂を甲子園で見せてください。社長も応援に行きます!

釜石高校!
釜石の奇跡!
釜石高校!
釜石の奇跡!



いろいろにゆうすがありまして

やぶやぶにゆうすの感想、大藪保険の感想をお寄せください。

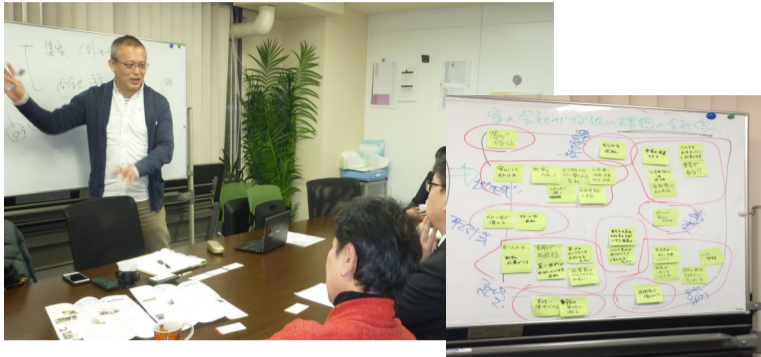
office@yabuyabu.com

大藪保険は現在ホームページ更新準備に入っています。

なんととっても個性派集団（カッコよく言えば）の大藪保険の面々、発言してほしい、と言われなくても良くしゃべります。まあ船頭が多いのです。だからあっちへ行ったり、こっちへ行ったり、だれが船頭だなんて、私名指しはいたしませんよ、ご想像ください。

まとまらないという事でついには法まで登場しました。これは川喜田二郎先生が考案したデータをまとめる手法です。（若かりし頃編集長は職場がお隣でした。よく遊びに先生の事務所に遊びに行きました。なつかしい！）

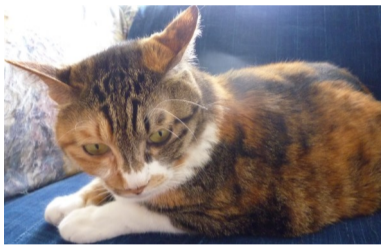
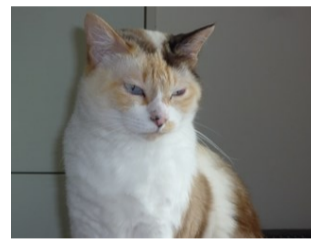
そこでやつとまとまりましたとなればよろしいのですが、まとまらないのが大藪保険、夢が多すぎて・・・。さあ皆様にどんなホームページを見ていただけますか、ご期待ください。会社に設置していますエルデバイスも改装中です。お楽しみにお待ちください。



やぶやぶわんこにゃんこ 一紹介コーナー

最初はにゃんこからご紹介します。箱入り娘の女の子です。5人兄弟の3番目と4番目を貰い受けました。産まれた時からずーと一緒の姉妹だから仲良しなんだね、寝る時は人間のママと一緒にだそうです。

物怖じしないナナちゃん



臆病なルルちゃん 運動神経は抜群です。

お次に控えしは わんこの二匹

ライト君とエルちゃんのカップルです。最近可愛いお子さんが生まれました。

ライト君はやんちゃな男子、家の中では割とおとなしいのですが、散歩に出るとあたりかまわず吠えまくる「外弁慶？」なわんこです。



エルちゃんはとてもおとなしい女の子、でもとっても食いしん坊だそうです。パピヨンとチワワのミックス、パピヨンの特徴のお耳とチワワの大きなくりっとしたお目、親の良いところ取りのわんこですね。可愛い！



個人賠償責任特約はおすすめです。



何年も前ですが個人賠償責任保険を取り上げご紹介いたしました。久々にご紹介したいと思います。今は個人賠償責任保険という保険はなくなりました。

自動車、火災、傷害保険に特約という形でつけます。この特約の凄いところは一家に一つこの特約をつけた場合（同居の親族、別居の未婚の子、具体的には大学が地方で暮らしている息子や娘さんです。）全員がこの特約の恩恵を受けられます。ペットも保険上は所有物、物扱いですのでこの個人賠償責任特約の範囲に入ります。

弊社が扱った事故では同居のお孫ちゃんがボール遊びをして止まっているベントの屋根にぶつけて傷をつけてしまった。飼っているわんこが「開けないでください！」と言っているのにドアを開けてしまい集金人の足に噛み付いてしまった。そういえばお友達の家遊びに行くとトイレに置いていた小さな置物をトイレに流して詰まらせてしまった、何てこともありました。保険金が出ました。

一番多いのは自転車の事故です。自転車同士の追突、自転車が通行人にぶつかった！自転車と人の場合は自転車に過失が多いと判断されることが多いのでご注意ください。編集長の住まいには車道と歩行道路に自転車専用道路の三つの道路で構成されています。この荻窪は歩行道路に自転車が走っているので何度も危ない思いをしました。

ペットの噛み付き事故から自転車事故まで補償の広い特約です。しかもこの特約の保険料はとてもお安いのです。皆様におすすめしたいです。

新入社員紹介

佐々木浩美さん

新しいスタッフが二人加わりました。1年前に入社いただいた「佐々木浩美さん」です。二児のママで仕事に育児にフル回転の頑張り屋さんです。あつという間に仕事に慣れて、大藪保険を支えてくれています。安心して仕事を任せられる頼もしい一員です。

松井克郎君

昨年12月入社の方の「松井克郎君」大藪保険一番の若手で20代です。まだ経験が浅いですが東京海上日動社での研修を経ての入社です。誠意と熱意で皆様の元にお伺いします。

弊社で乳房触診出来ます

昨年杉並フェスタで好評をいただきました乳房触診模型をお客様ブースに置きましてご来店いただいた方にチェックしていただくことになりました。

ガンは早期発見が大事です。お近くにいらした方、ちよつと気になっていたらお気軽に大藪保険でご確認ください。初めての方にはご指導させていただきます。

編集後記

大藪保険にお電話いただくこの二人が対応する確率が高いです。よろしくお願いいたします。

もつと早く春号をお届けしたかったのですが、本当に桜の蕾が膨らみ、春本番となってきました。若い人たちが増え、季節といえば大藪保険も春なのでしようね。対応その他お気づきの事があればご遠慮なくおっしゃってください。今年度も皆様の「大藪保険」にして保険をお手伝いさせていただきます。今年もよろしくお願いたします。

大藪保険スタッフ一同

